

感染症の予防のための情報提供について

病名	腸管出血性大腸菌感染症（型不明）																											
年齢及び性別	3才・男児	職業	保育園児																									
住所	伊賀市																											
発病年月日	令和3年4月9日																											
診断年月日	令和3年4月15日																											
<p>（患者発生の経過）</p> <p>4月9日 発熱、下痢、腹痛、悪心嘔吐の症状がみられ、伊賀市内の医療機関を受診した。</p> <p>4月12日 伊賀市内の医療機関に入院となった。</p> <p>4月15日 4月13日の便検査から腸管出血性大腸菌感染症と診断された。</p> <p>4月16日 現在、患者の症状は改善し、すでに退院しています。</p>																												
<p>【防疫措置】 接触者の健康状況調査及び検便の実施（伊賀保健所）</p>																												
<p>【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】（四日市市保健所分を含む）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017年</th> <th>2018年</th> <th>2019年</th> <th>2020年</th> <th>2021年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者</td> <td>29</td> <td>32</td> <td>29</td> <td>22</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>保菌者</td> <td>13</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>13</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計(感染者)</td> <td>42</td> <td>51</td> <td>49</td> <td>35</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2021年1月1日～2021年4月16日現在まで本件含む 2021年内訳 患者：O157（1人）型不明（1人）</p>						2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	患者	29	32	29	22	2	保菌者	13	19	20	13	0	計(感染者)	42	51	49	35	2
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年																							
患者	29	32	29	22	2																							
保菌者	13	19	20	13	0																							
計(感染者)	42	51	49	35	2																							
<p>【自分でできる対策】</p> <p>1 予防の3原則</p> <p>① 加熱（菌を殺す） この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。 肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。 ひき肉は、十分に加熱をしましょう。 焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。 井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。</p> <p>② 迅速・冷却（菌を増やさない） 調理した食品はすぐに食べましょう。 冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫（10℃以下）や冷凍庫（-15℃以下）に入れましょう。</p> <p>③ 清潔（菌をつけない） 手指や調理器具は十分に洗いましょう。</p> <p>2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。</p> <p>3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。</p>																												